

地下空間のわかりやすさとは

ー地下鉄サインのユーザー参加による取り組みー

日時：平成 30 年 10 月 3 日（水）17:00 ～ 20:00（受付開始 16:30）

場所：土木学会 講堂 東京都新宿区四谷 1 丁目外濠公園内

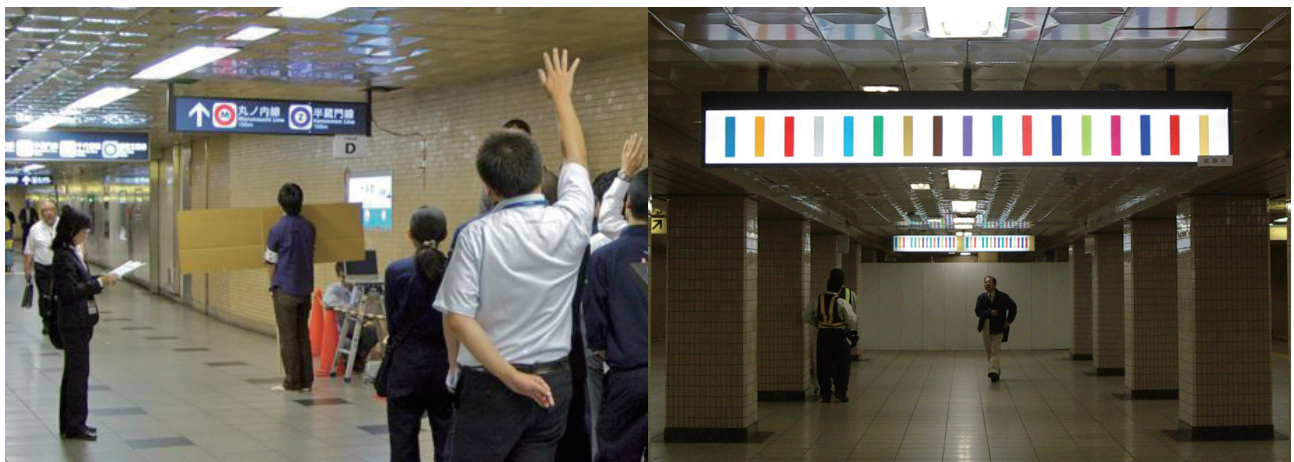
パネリスト：萩野 美有紀 氏 アール・イー・アイ株式会社 代表取締役

芳賀 優子 氏 共用品研究所

伊藤 啓 氏 東京大学 定量生命科学研究所 准教授

モデレーター：須田 武憲 心理小委員会委員長（株式会社 GK 設計 代表取締役）

主催：公益社団法人土木学会 地下空間研究委員会（担当：心理小委員会）



地下空間における「わかりやすいサイン」とは何でしょうか。

多様な人々が快適に移動するため、空間を案内するサインに気づき、その内容を読み取り、正しく理解できること、また、それらをスムーズにできることがサインのわかりやすさです。「気付く」「読み取る」「理解する」ことの難易度は、空間の状況とともに、利用者の身体状況や生活経験、文化背景によって大きく異なります。

東京では、1 日あたり 900 万人以上の人々が地下鉄で移動しています。多様な人々を考慮したわかりやすい地下空間とするため、サインが果たすべき役割とそのわかりやすさは必要不可欠です。

本セミナーでは、サインの最適解を求めて鉄道事業者とともに様々な調査を実施し、サインシステムの構築や駅のサイン計画に携わってこられた方々から話題提供して頂きます。

第 1 部は、サインの設計者である萩野氏からユーザー中心設計を目指す取り組みについて、第 2 部は、様々な計画に当事者として参加された豊富な経験を持つ 芳賀氏（弱視者）と伊藤氏（色弱者）から、当事者参加の望ましい姿についてお話しを頂き、事業者・設計者・当事者の協働作業のあり方、今後取り組むべき課題やその解決策について議論します。

プログラム

17:00 ～ 17:10	開会挨拶	心理小委員会委員長 須田 武憲（株式会社 GK 設計 代表取締役）
17:10 ～ 18:10	第 1 部	「サインのユーザー中心設計を目指して」 パネリスト：萩野 美有紀 氏（アール・イー・アイ株式会社 代表取締役）
18:10 ～	第 2 部	「当事者参加の望ましい姿」
18:10 ～ 18:30		パネリスト：芳賀 優子 氏（共用品研究所）
18:30 ～ 18:50		パネリスト：伊藤 啓 氏（東京大学 定量生命科学研究所 准教授）
18:50 ～ 19:00	休憩	
19:00 ～ 19:50	全体討議	モデレーター：須田 武憲
19:50 ～ 20:00	閉会挨拶	

パネリスト

萩野 美有紀 氏（はぎの みゆき）アール・イー・アイ株式会社 代表取締役

日本ロービジョン学会会員・武蔵野美術大学通信教育課程非常勤講師・消費生活アドバイザー

1982年 千葉大学工学部工業意匠学科卒業、1991年 印刷会社、フィルムメーカーを経て、アール・イー・アイ株式会社入社、2000年 同社取締役、2017年 同社代表取締役

専門：サイン計画を中心とした工業デザイン

業績：東京地下鉄（株）サインシステムガイドライン策定、東京都交通局 地下鉄サインシステム基準策定、横浜市交通局 地下鉄ブルーラインサインシステムマニュアル策定、名古屋市交通局 地下鉄およびバス サインシステムマニュアル策定、埼玉高速鉄道 サインシステムマニュアル策定、東葉高速鉄道 サインシステムマニュアル策定、東京地下鉄株式会社 各駅旅客案内サイン設計 他

芳賀 優子 氏（はが ゆうこ）共用品研究所

埼玉県ユニバーサルデザインアドバイザー委員、さいたま市障害者政策委員会委員、公益財団法人都市緑化機構ユニバーサルデザイン共同研究会運営委員、公益財団法人共用品推進機構個人会員、日本福祉のまちづくり学会会員、社会福祉法人国際視覚障害者援護協会会員

生まれた時から弱視（ロービジョン）で全色盲。高校までは盲学校で学ぶ。

1985年 拓殖大学外国語学部スペイン語学科卒業、1985年～2007年 ヤマト運輸株式会社、1991年 E&C プロジェクト（現公益財団法人共用品推進機構）発足時から活動に携わる。2009年～2012年 NHK ラジオ第二「聞いて、聞かせて」キャスターを務める。

主な著書：「バリアフリーの商品開発」日本経済新聞社（共著）、「見えないってどんなこと？」一ツ橋出版（共著）、「弱視 OL 奮戦記」都市文化社、「弱視の人に出会う本」小学館（共著）、「ゆうことカリンのバリアフリーコミュニケーション」小学館（共著）

伊藤 啓 氏（いとう けい）東京大学 定量生命科学研究所 准教授

東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻 准教授

1986年 東京大学理学部物理学卒業、1991年 同大学院理学系研究科修了、理学博士。独マインツ大学客員研究員、国立基礎生物研究所助手等を経て、2002年 より現職。2004年 NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)を設立、副理事長。2015年 米ハーワードヒューズジェネリア研究所シニアフェロー、2016年 独ケルン大学動物学教室教授。

専門：脳の分子神経生物学

業績：自身が色弱（P型強度）で、科学者向けに学会プレゼンでの色弱の人にもわかりやすい色づかいを啓発する活動を始めた（2001年）のをきっかけに、博物館展示・公共施設案内サイン・家電製品・OA 機器・文房具・教科書など様々な製品の色づかいの UD をアドバイスするようになる。国土交通省バリアフリーガイドライン策定委員（2007年）、カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット策定（2009、2018年）、TV 局の津波情報表示統一（2011年）、気象庁の気象防災情報の配色指針策定（2012年）、JIS 安全色改訂（2018年）他

参加申込

定員： 80名（参加には事前申込みが必要です。定員に達し次第締め切ります。）

申込方法： 土木学会ホームページ「本部主催行事の参加申込」よりお申込み下さい。

<http://www.jsce.or.jp/>

申込締切： 平成30年10月1日（月）

参加費： 無料

会場

公益社団法人土木学会 講堂

東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内

JR 線「四ツ谷」駅 四ツ谷口より徒歩3分

東京メトロ南北線「四ツ谷」駅 3番出口より徒歩3分

東京メトロ丸の内線「四ツ谷」駅より徒歩5分

<http://www.jsce.or.jp/contact/map.shtml>



お問い合わせ先

主催： 公益社団法人土木学会

地下空間研究委員会 担当：心理小委員会

連絡先：公益社団法人土木学会 研究事業課 杉岡 清博

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内

E-mail : sugioka@jsce.or.jp